

問1	1993年には金、ダイヤモンド、石炭などの鉱産資源が輸出の上位を占めていた南アフリカ共和国では、2014年の統計において、機械類や自動車 が輸出の上位に入っています。このような変化の背景として最も適切な説明はどれですか。 （2017年 山形県公立入試 類似）			
	1. 資源が完全に枯渇したため、鉱産資源の輸出をすべて廃止し、観光などのサービス業のみに経済を切り替えた。	2. 特定の資源に依存するモノカルチャー経済を維持するため、輸出をダイヤモンドと金だけに限定する政策をとった。	3. 農業技術の革新により、鉱産資源の輸出に代わってコーヒーやカカオなどの農作物の輸出が急増した。	4. 工業化が進んだことで、従来の鉱産資源に加えて機械類や自動車などの工業製品の輸出割合が増加した。
問2	アフリカ大陸の地図を確認すると、国境線が経線や緯線に沿った直線となっている箇所が多く見られます。このような国境線が引かれることになった歴史的な経緯として最も適切なものはどれですか。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）			
	1. 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため	2. アフリカ諸国が独立する際、民族や言語の分布を調査して公平に分割したため	3. アフリカ大陸には大きな河川や山脈が存在しないため、測量技術を用いて人工的に引いたため	4. 砂漠や平原などの起伏の少ない地形が続くため、自然物を境界にすることができなかったため
問3	アフリカ大陸を東西に通過する緯線のうち、大陸のほぼ中央部に位置するビクトリア湖付近やギニア湾の奥を通り、緯度0度を示す線の名称を何とといいますか。 （2015年 富山県公立入試 類似）			
	1. 本初子午線	2. 北回帰線	3. 南回帰線	4. 赤道
問4	アフリカ大陸北端のチュニスと、南端のケープタウンは、ともに「夏季に乾燥し、冬季に降水がある」という地中海性気候の性質を持っています。しかし、統計資料においてケープタウンの降水量の山が6月から8月に見られるのに対し、チュニスの降水量の山は12月から2月に見られます。この時期のずれが生じる理由を説明したものとして正しいものを選びなさい。 （2026年 群馬県公立入試 類似）			
	1. チュニスは地中海に面しているが、ケープタウンは寒流の影響を強く受けるため、夏季にのみ霧が発生して降水量が増えるから。	2. アフリカ大陸南部には季節風（モンスーン）が吹いており、6月からの半年間はインド洋から湿った空気が流れ込むから。	3. ケープタウンは標高が非常に高いため、低地であるチュニスよりも雲が発生しやすく、1年中雨が降りやすいから。	4. ケープタウンは南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転するため、6月から8月が冬季降水の時期にあたるから。
問5	アフリカ大陸のサハラ砂漠の南側に広がる「サヘル」と呼ばれる地域では、深刻な環境問題に直面しています。この地域で発生している環境問題の主な原因と、その解決に向けた取り組みの組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 （2018年 東京都公立入試 類似）			
	1. サンゴ礁の死滅に伴う漁業資源の減少と、沿岸部でのマングローブの植樹	2. モンスーンの影響による大規模な洪水と、国際河川へのダム建設による流量調節	3. 輸出用の農作物の増産による砂漠化と、フランスなどと協力した植林による土壌の再生	4. 銅鉱石の露天掘りによる地形の変化と、鉱山跡地を利用した大規模な太陽光発電
問6	緯度がほぼ同じアフリカの2つの都市について、低地にある都市では月平均気温が21度から34度という高温を示すのに対し、エチオピア高原付近にある都市では年間を通じて14度から18度程度と、冷涼な気候となります。このように緯度が等しくても気温に大きな差が生じる理由として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 愛媛県公立入試 類似）			
	1. 標高が高くなるにつれて気温が低下するため	2. 寒流の影響で冷たい空気が流れ込んでいるため	3. 年間降水量が多いために地表の熱が奪われているため	4. 季節風の影響で乾いた風が吹き続けているため
問7	アフリカ大陸の赤道直下に位置するケニアのナイロビ付近では、切り花のバラの栽培が盛んに行われ、日本やヨーロッパへ輸出されています。バラの栽培には「最低気温が15℃以上、最高気温が25℃以下」という条件が望ましいとされています。赤道付近でありながら、年間を通じて平均気温が20℃前後で安定し、バラの栽培に適した環境となっている主な理由として正しいものはどれですか。 （2015年 長野県公立入試 類似）			
	1. 周辺を流れる寒流の影響を強く受けているため	2. 年間を通じて湿った季節風の影響を受けるため	3. 緯度が高く、温帯の気候区分に属しているため	4. 標高が高い場所に位置しているため
問8	コートジボワールにおけるカカオ豆や、ナイジェリアにおける原油のように、特定の一次産品の輸出に頼る「モノカルチャー経済」が抱える課題として、最も適切な説明はどれですか。 （2024年 沖縄県公立入試 類似）			
	1. 工業化が進みすぎること、伝統的な農業が衰退し食料自給率が低下する。	2. 国際価格の暴落や天候による不作が、国家財政に大きな打撃を与える。	3. 原材料を輸入して製品を輸出するため、輸入価格の高騰が製品価格に影響する。	4. 特定の国とだけ貿易を行うため、外交関係の悪化によって輸出が完全に止まる。
問9	北アフリカや西アジアの地域において広く信仰されており、その戒律によって豚肉を食べることが禁じられている宗教は何ですか。 （2022年 栃木県公立入試 類似）			
	1. 仏教	2. ヒンドゥー教	3. キリスト教	4. イスラム教
問10	アルジェリアとブラジルの貿易統計から読み取れる、両国の産業構造の違いについて述べた文として正しいものを選びなさい。 （2017年 兵庫県公立入試 類似）			
	1. アルジェリアは機械類や自動車の輸出が中心の工業国であるが、ブラジルは大豆やコーヒーなどの農産物のみを輸出している。	2. アルジェリアはブラチナの輸出がアフリカで最も多い資源国であり、ブラジルは原油と天然ガスのみを輸出するモノカルチャー経済である。	3. 両国とも輸出品目の上位3位までをエネルギー資源が占めており、一次産品だけに依存する共通の課題を抱えている。	4. アルジェリアは原油や天然ガスといった鉱物燃料の輸出に特化しているが、ブラジルは鉄鉱石、大豆、機械類など多様な品目を輸出している。
問11	アフリカ大陸の北部に広がるサハラ砂漠の南縁に沿って、東西に帯状に伸びる半乾燥地域では、近年、土地の荒廃が進み植生が失われる現象が深刻化しています。この地域の名称を何とといいますか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）			
	1. サヘル	2. セルバ	3. サバンナ	4. ステップ
問12	ある統計資料によると、アジアでは人口約4億3400万人に対して約13億3500万トンの穀物を生産し、ヨーロッパでは約7400万人の人口に対して約5億1100万トンの穀物を生産しています。これに対し、人口約1億1400万人に対して穀物生産量が約1億8900万トンにとどまり、他の地域と比較して「一人あたりの穀物生産量」が著しく低く、食料不足が深刻な課題となっている地域はどこですか。 （2019年 福岡県公立入試 類似）			
	1. 南アメリカ	2. 北アメリカ	3. オセアニア	4. アフリカ

答え合わせ・解説

問1	答え 4 工業化が進んだことで、従来の鉱産資源に加えて機械類や自動車などの工業製品の輸出割合が増加した。	南アフリカ共和国は、以前は豊富な地下資源を背景に金やダイヤモンドなどの鉱産資源の輸出に依存する経済構造であった。しかし、近年は国内の工業化が着実に進展したことで、自動車産業などの製造業が成長した。その結果、輸出統計において機械類や自動車といった付加価値の高い工業製品が主要な品目として現れるようになり、産業の多角化が進んでいる。
問2	答え 1 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため	19世紀後半、ヨーロッパの列強諸国はアフリカを植民地化する際、現地の民族分布や文化、伝統的な勢力範囲を無視して、地図上の経線や緯線を利用して便宜的に境界線を引きました。この人為的な国境線は、独立後も引き継がれたため、一つの国の中に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国に分断されたりすることになり、後の民族紛争の原因の一つとなりました。
問3	答え 4 赤道	緯度0度の線は赤道と呼ばれ、地球を北半球と南半球に分ける境界となります。アフリカ大陸においては、広大なサハラ砂漠よりも南側に位置し、アフリカ最大の面積を持つビクトリア湖付近を通過しているのが地理的な大きな特徴です。
問4	答え 4 ケープタウンは南半球に位置しており、北半球とは季節が逆転するため、6月から8月が冬季降水の時期にあたるから。	地中海性気候は「冬季に降水が集中する」という共通のメカニズムを持っています。チュニス は北半球にあるため12月～2月が冬となり降水が増えますが、南半球にあるケープタウンでは6月～8月が冬にあたるため、この時期に降水量がピークを迎えます。このように、南北半球での季節の逆転を理解することが重要です。
問5	答え 3 輸出用の農作物の増産による砂漠化と、フランスなどと協力した植林による土壌の再生	サハラ砂漠の南縁に位置するサヘル地域では、人口増加による過放牧や、外貨を得るための輸出用農作物の過剰な栽培（過耕作）が原因で、土地が痩せて砂漠化が進行しています。この深刻な干ばつや砂漠化に対し、かつての宗主国であるフランスや近隣諸国が協力し、グリーンベルトを形成するための植林活動などを通じて土壌の再生に取り組んでいます。
問6	答え 1 標高が高くなるにつれて気温が低下するため	気温は緯度だけでなく地形の影響も大きく受けます。一般に、標高が100m上がるごとに気温は約0.6度下がるとされており、エチオピア高原のような高地では、赤道に近い低緯度であっても年間を通じて気温が低く抑えられます。このため、周辺の低地が厳しい暑さであっても、高地では冷涼で過ごしやすい気候が形成されます。
問7	答え 4 標高が高い場所に位置しているため	赤道付近の低地は本来、熱帯雨林気候のように高温多湿な環境となりますが、標高が高くなると気温が下がる性質（高度が100m上がるごとに約0.6℃低下する）があります。ケニアのナイロビなどの高地では、赤道の強い日射を受けつつも標高の影響で気温が抑えられるため、年間を通じて気温の年較差が小さく、20℃前後の過ごしやすい気候が維持されています。
問8	答え 2 国際価格の暴落や天候による不作が、国家財政に大きな打撃を与える。	輸出先や輸出品目が限定されているため、その品目の国際市場での価値が下がったり、自然災害などで生産量が減少したりすると、代わりとなる収入源がなく、経済が非常に不安定になります。これを打破するために、多くの発展途上国では工業化などの産業育成が進められています。
問9	答え 4 イスラム教	北アフリカや西アジアでは住民の多くがイスラム教を信仰しています。イスラム教には聖典「コーラン」に基づいた厳格な生活上の決まり（戒律）があり、その中で豚肉を食べることは禁じられています。このため、これらの地域の統計では豚の飼育数や消費量が他の地域に比べて極めて少ないという特徴が見られます。
問10	答え 4 アルジェリアは原油や天然ガスといった鉱物燃料の輸出に特化しているが、ブラジルは鉄鉱石、大豆、機械類など多様な品目を輸出している。	アルジェリアは輸出の約9割をエネルギー資源が占めるモノカルチャー経済の傾向が強い一方、ブラジルは農産物（大豆）、鉱産資源（鉄鉱石）、工業製品（機械類）という3つの柱を持っており、アルジェリアと比較して産業の多様化が進んでいます。南アフリカ共和国がブラジルの主要産出国であることや、ブラジルが工業化に成功している背景を理解することが重要です。
問11	答え 1 サヘル	サハラ砂漠の南側に位置するサヘルは、アラビア語で「岸辺」を意味する言葉に由来します。もともとは乾燥に強い草が生える地域で遊牧などが行われてきましたが、近年は砂漠化の進行が国際的な環境問題となっています。南アメリカのアマゾン川流域に見られる熱帯雨林である「セルバ」や、熱帯の乾季がある地域に見られる丈の長い草の草原「サバンナ」との違いを理解しておくことが重要です。
問12	答え 4 アフリカ	アジアやヨーロッパといった他の地域では、人口の規模に対して穀物生産量が大きく、一人あたりの供給量にある程度の余裕があります。しかし、アフリカでは人口に対する穀物生産の割合が他地域よりも低いため、一人あたりの穀物生産量が極めて少ない状況にあります。この背景には、急激な人口増加に農業技術の普及や生産基盤の整備が追いついていないという課題があり、干ばつなどの自然災害が発生した際に深刻な食料不足や飢饉につながりやすいという地域的特徴があります。